



中学生が地域の中で職場体験

トライやる・ウィーク

市内7校の中学生2年生が5日間、職場体験する「トライやる・ウィーク」が5月12日～30日に、行われました。農業や漁業、酪農の生産活動や各種職場体験、ボラン

ティア福祉などの体験を通じて、仕事の厳しさや楽しさ、人との触れ合いを身と感じ、人と社会の関わりや、社会への更なる自立心を見出す貴重な体験となりました。



▲牛のお世話。モ〜ちょっと大盛りで



▲たのもしなお姉さん。園児に囲まれて



▲病院でシーツ交換の手ほどき。わりとコツがあります



▲手早く出荷。魚は鮮度が一番



▲シーズン到来。ホテルのプールを清掃



▲給油のお仕事。メーターを見ながらは難しいぞ

中学生の 育児体験

子育て学習センターの親子と御原中学校の3年生との育児体験教室が、6月12日に松帆活性化センターで開催されました。中学生は3歳以下の乳幼児と一緒に遊んだり、お母さんから育児の話を聞いたりしながら、ふれあいしました。子どものかわいらしさ、無邪気さなどを肌で感じ、将来に父親、母親となった姿を考える楽しいひとときとなりました。



▲飲食店で皿洗い。何事も基本から



▲旅館のタオルを洗濯。きっちりたんでおもてなし



▲ペットショップで犬のシャンプー。きれいになったワン



▲何の土器？復元作業にドキ、ドキ・・・



▲ちりめん加工の細かい手作業。根気がいります



▲子どもと触れ合う男子中学生

阿部さん、海水浴場にゴミ箱を寄贈



▲ゴミ箱を寄贈した阿部さん

阿部秋満さん（阿万）が、6月4日、阿万海岸海水浴場にゴミ箱16個を寄贈されました。

阿部さんは定年退職後、清掃奉仕活動に熱心に取り組まれており、洲本市内や中山峠、福良などのバス停にもゴミ箱を設置し、週に1回、自ら回収しています。また毎日、自宅近くの吹上浜の清掃活動にも取り組まれています。阿部さんは「設置すること

賀集郵便局が 車椅子を寄贈

賀集郵便局（加藤正隆局長）と（財）郵政福祉が、社会貢献活動の一環として、南あわじ市特別養護老人ホーム「すいせんホーム」に車椅子5台を寄贈されました。車椅子は同施設で利用します。



▲寄贈されたサッカーゴール



▲加藤局長（中央）から目録が手渡されました

ふれあい市長室

低地防災対策実現へ本格的始動

南あわじ市長 中田勝久

周知のとおり、平成16年の台風23号被害は甚大なものでした。永年苦しんできた低地、災害対策は地域の悲願であり、生命・財産を守るために行政と地域そのものが取り組まなければならない最優先課題であります。

排水機場の改修をはじめ、総合的視野に立った外水、内水対策に関する実施計画を策定し、具体的事業の実現に向け確実に国の採択をいただくため懸命に努力いたしております。県や地元の方々とともに議論を重ねてまいりました抜本対策として、三原川水系河川整備計画がいよいよ動き出します。

先日、国土交通省の河川局へお願いにあがりまし。県の全面的な支援をいただき、既に国交省担当課と協議を進めていただいております。

この度正式に三原川水系河川整備方針の同意申請を提出すようお願いいたします。